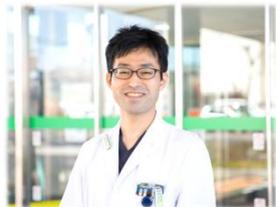




■ 病院長 就任のご挨拶



前院長の小松医師の後任として、2024年4月より出雲市民病院病院長を拝命しました家庭医療科の高橋 賢史と申します。

「誰もが健康で過ごせて、必要な時にいつでも医療を受けられるようにしたい」という地域の人々の願いに応えるため、当院の前身である出雲大衆診療所が1950年に市民によって設立されました。その後、生協法人となり、地域住民のみなさんや生協組合員さんとともに健康づくり、まちづくりの取り組みをすすめてきました。こうした歴史から民間病院ではありますが「市民病院」を冠しており、すべてのひとの人権を大切にする医療を実践し信頼される病院になりたい、ということが開設以来一貫した私たちの願いです。

社会の変化に伴い日本の医療も変化しており、出雲圏域における医療も機能分化が進みました。当院は出雲地域に根ざしたコミュニティホスピタルとしての立ち位置で役割を發揮していきます。地域住民のみなさんや生協組合員さんがこの出雲でより健康で安心して生活を送ることができるよう、病院としての役割を遂行する事でお手伝いしていきたいと考えてます。

ご支援、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

■ 新任医師紹介



外科
すえみつ こうや
未光 浩也

4月から出雲市民病院に赴任しました。専門は、消化器外科、乳腺外科など一般外科ですが、主に病棟にて診療を行います。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



内科
ますもと たかと
益本 貴人

4月から内科勤務させていただくこととなった益本 貴人と申します。昨年度までは京都の病院で勤務させていただいておりましたが、御縁があり拠点を出雲に移すこととなりました。天気の良い日は海も眺めることができ、景色を堪能しています。

子供たちもいろいろな公園で走り回って楽しそうにしている、良い土地に移ることができたなど実感しております。不慣れな部分も多々あるかと思いますが、御指導のほどよろしくお願いいたします。



整形外科
にしんいちろう
西 真一郎

4月から入職しました西 真一郎と申します。患者様に寄り添うような医療を提供できるよう頑張ります。

※ 井上先生と交代で着任された先生です。

■ 第18回 TQM発表大会を開催しました！

18回目となる※①TQM発表大会を開催しました。

『患者視点に立ち、医療サービスを見直そう！』をテーマに掲げ、10サークルが活動を行いました。

どのサークル活動もクオリティが高く、洗練されており、一人ひとりから、この病院をより良くしていこうという熱意が伝わる、とても素晴らしい発表会となりました。

※①TQMとは...全員・全体（Total）で、医療・サービスの質（Quality）を、継続的に向上させる（Management）ことです。実際の活動には、「QC手法（QC=Quality Control）」と呼ばれる手法を用います。

★★★最優秀賞★★★ 栄養課 栄養課QCサークル

『ミキサー食のトロミ濃度を統一しよう』

【講評/感想】 入院患者さんから当院の入院食は美味しいと言っているが、さらに美味しく食べてもらいたいと言う気持ちが伝わった。ミキサー食は誤嚥性肺炎に直結した食事内容となるので、多職種を巻き込み食事の質をあげたいという強い思いを感じることができた。

★★優秀賞★★ 透析室 Dialysis

『透析患者に、私たちができること』

【講評/感想】 医療者は知識があるが、患者さんはどうか？また移動してきたスタッフは？このような疑問から「透析通信」の発行は、患者さんの理解度を確認し、より一層患者さんに寄り添った取り組みであるとともに、スタッフ全体のモチベーションや知識向上に繋がっている素晴らしい活動だった。

★★院長賞★★ 5階病棟 まごごろ届け隊

『安心してください、快適ですよ！』

～患者視点に立ち、私たち5階病棟ができる医療サービスを見直そう！～

【講評/感想】 コロナ禍で患者家族面会制限が解除となり、接遇が全国的な問題になっている。その中で、気づきとしてこのテーマを選んだこと、また職責やリーダーが中心になって行った事が素晴らしい。今後とも是非継続して続けてほしい。



出雲市民病院 地域連携センター

◆ 転院の相談 担当：大平、深井(MSW)

◆ 受診・検査の相談：栗原(看護師)

TEL：0853-21-8106 FAX：0853-21-8123